反対同盟ニュース

2022年4月17日　第101号

三里塚芝山連合空港反対同盟
（連絡先）成田市天神峰６３　市東孝雄方
Tel0476-35-0087 https://www.sanrizuka-doumei.jp/

空港機能強化白紙撤回・第３滑走路建設阻止!
農地強奪強制執行阻止! 成田の軍事使用許すな!

芝山文化センターに285人

会場を埋めた参加者が機能強化白紙撤回に向けて団結ガンバロー三唱

3月27日、私たちは相川勝重前町長による施設貸し出し拒否の妨害をはねのけ、芝山文化センターで集会を開催しました。285人の仲間と共に「空港機能強化白紙撤回・第3滑走路建設阻止」「市東さんの農地を守ろう」「成田の軍事利用許すな」を掲げ、芝山町中心部を意気高くデモ行進しました。

主催者あいさつに立った芝山町白枡の伊藤信晴さんは、「成田軍事空港絶対反対、農地死守・実力闘争」という反対同盟が56年間貫いてきた基本原則を守り闘うことが空港機能強化を阻み、戦争や改憲を阻止する道筋があると訴えました。戦争や異常気象、食料危機などの根っこは一つです。機能強化阻止は人類と地球の未来のかかった課題です。機能強化白紙撤回へ共に声を上げましょう。

芝山文化センターからデモに出発

◎第3誘導路裁判
4月22日(金)　10時30分開廷　千葉地裁

◎耕作権裁判
4月25日(月)　9時 千葉市中央公園集合
→千葉市街地をデモ行進
10時30分開廷　千葉地裁

４・10 天神峰カフェ オープン
第３滑走路建設予定地をフィールドワーク

４月 10 日、暑いくらいの日差しの下、天神峰カフェをオープンしました。

正午過ぎ、コミュニティバスから降りてきた参加者を迎え、総勢 15 人でカフェがスタート。市東さん宅中庭で野菜たっぷりのみそ汁とコーヒーをいただきながら、３・27 芝山集会の話や地域住民の取り組みなど、現地の話で盛り上がりました。

午後１時過ぎ、クルマに分乗し、第３滑走路予定地のフィールドワークに出発。空港敷地の北端から始め、田んぼや畑、集落の間を縫（ぬ）うように南端のゴルフ場までくまなく見て回りました。

ポイントになるところではクルマを降り、伊藤信晴さんや現地スタッフが闘い

の歴史から最新の状況、あるいは一斉行動で親しくなった住民の声を紹介し、案内しました。（写真上）

この日は休みでしたが、あちらこちらで遺跡発掘調査の囲みを目にしました。坂を上↗

市東さん農地強制執行実力阻止！
座り込み行動開始から１周年

成田市天神峰の市東孝雄さんが３代 100 年耕し続ける農地を強制執行で取り上げようという成田空港会社の横暴を許さず、座り込み行動を闘っています。４月１日に１周年を迎え、今後も農地取り上げを実力で阻止する決意を込め、早朝行動に立ちました。

り下りするたびに、「ずいぶん高低差があるんですね」と驚きの声があがりました。小高い丘の上から眼前に広がる田んぼを見下ろし、「これが全部埋められちゃうのか」と自然破壊・生活破壊の規模の大きさに怒りの声があがりました。

２時間余りの調査を終えて再び中庭に戻り、感想を述べ合いました。（写真右）

「第３滑走路建設はもう一つ空港を造るのと等しいという意味がよくわかった」「普通に農業しているところに軍事目的で空港を造るのは許してはならない」「こんな無茶な計画を地元の人たちが簡単に許すはずがない。もう一度芝山で反対闘争がおきると確信した」「空港会社はいろいろ策を弄（ろう）して取り込もうとしているが、住民一人一人の持つ怒りの深さを理解できないんだ」

最後に太郎良陽一さんが翌月（５月29日）の天神峰カフェへの意気込みを語り、参加者は今日見聞きしたことを周りに広げ、またぜひ来ようとの思いを胸に帰路につきました。

イタリアピサ市　空港労働者が戦争協力拒否しデモ

ロシア軍によるウクライナ侵攻をきっかけに第３次世界大戦・核戦争の危機がかつてなく高まっています。

イギリスの労働組合は「この戦争はＮＡＴＯ（北大西洋条約機構・巨大軍事同盟）の中東欧への拡大が促進したロシアとＮＡＴＯの代理戦争」と見抜き、ウクライナでもロシアでも全世界の労働者はこの戦争で得るものは何もないと国際主義の立場で自国政府の戦争支援（経済制裁・軍事援助）に反対しようと声明を出しましています。イタリアではガリレオ・ガリレイ国際空港の労働者が「人道支援物資」と称した箱の中身が「武器・弾薬」であったことを暴き、積み込みを拒否。軍事介入の必要を叫ぶ政府の宣伝を打ち破って反戦デモに立っています（写真）。

岸田政権は戦争反対を叫ぶ全世界の労働者の闘いに背を向け、防衛費倍増・敵基地攻撃能力の保有を叫び、沖縄・南西諸島への自衛隊ミサイル配備を次々と進め、日本海に展開する米原子力空母打撃軍と自衛隊との共同訓練を行わせるなど軍事恫喝、戦争挑発を繰り返しています。断じて許すことはできません。

今回の戦争で真っ先に攻撃対象となったのは出撃・兵站拠点である空港です。

一握りの政治家と軍需産業を儲けさせるだけの岸田政権による改憲・大軍拡を阻み、成田を戦争に使わせない闘いに共に立ち上がりましょう。

ロシアも米・NATOもウクライナから手を引け！

地域住民の声

今回は芝山町住民から。開港以来騒音を我慢してきたが、空港を２倍にし、年間発着回数50万回化する機能強化はもう絶対に許せないという怒りの声です。

◆騒音公害に20時間もさらされ、どう生きろというのか。

芝山町　主婦

開港から45年間も騒音を我慢してきました。揚げ句に空港の機能強化、倍増計画です。年間50万回飛行という内陸空港ではありえない計画です。飛行時間は早朝5時から深夜24時30分、悪天候などの理由では25時まで飛行が続きます。そうなると静穏時間はたったの4時間しかありません。しかも間隔は1分おきの連続爆音です。私たち住民は騒音公害が降り続く中で20時間も過ごすことになります。どう生きろというのでしょう。

世界保健機構や研究者たちは、騒音を長く暴露しているとホルモンや内分泌に異常をきたし、睡眠障害や心臓血管系疾患、精神疾患、糖尿病、子どもの認識障害などの様々なリスクが高まることを報告しています。また、家屋の防音工事の設置では時間の経過とともに劣化が進み、騒音から一家団欒を守りきることができません。20時間も騒音を浴びながら子育てができるでしょうか。子や孫にこんな劣悪な環境を残せるでしょうか。

憲法25条では、「すべて国民は健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する」とうたっています。騒音下の住民は国民としての資格はないのでしょうか。

5･29天神峰カフェにご参加を

5月29日（日）正午、成田市天神峰の市東さん宅離れで天神峰カフェを開きます。天気が良ければ中庭でオープンカフェ。採れたて野菜の手料理を囲み、一緒に午後のひとときを過ごしませんか？
前回はカフェ後に第3滑走路予定地のフィールドワーク（写真右）を行いました。
ご連絡は**太郎良（たろうら）陽一 090(1855)8189**まで。